

ポスト平成の 羅針盤



今年の4月30日をもって今上天皇が退位され、30年にわたった平成時代が幕を閉じます。今号では平成を振り返りつつ、新しい時代を展望するための特集として、『ポスト平成の羅針盤』としました。高齢化の進展とともに平均寿命は延び、人生100年時代と言われるようになり、生き方やライフデザインを大きく見直す必要に迫られています。特に、人口減少が進む中で、地方の危機は日本の危機であり、日本経済の復活のためには、地方の創生が不可欠と言えます。また、デジタル化の進展は私たちの生活や企業経営に大きな変革を迫っています。そこで、新年号では「人生100年時代」「地方創生」「デジタル化」をキーワードに3本の論文を取りあげました。

「人生100年時代」の
ライフデザイン

宮木 由貴子

地元経済を創りなおす

枝廣 淳子

デジタル化で
企業経営はどう変化するか

田中 秀樹

01

02

03